

2025年12月18日

各 位

会社名 abc 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松田 元  
(コード : 8783、スタンダード市場)  
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史  
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

### 暗号資産ポートフォリオの組み換えプログラム開始に関するお知らせ

当社は、暗号資産運用体制の強化と資産効率の向上を目的として、暗号資産ポートフォリオの組み換えプログラムを開始することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 暗号資産ポートフォリオの組み換え概要

当社はこれまで、NYANMARU Coin (\$NYAN)、WOWBIT (\$WWB)、Nyanmaru GOLD Utility Token (\$AGF) 等の暗号資産を保有し、それぞれのプロジェクト成長性や経済圏構築のポテンシャルに基づき投資・保有を行ってまいりました。

このたび、Nyanmaru GOLD Utility Token (\$AGF)・WOWBIT (\$WWB)を中心とした資産の一部について、USDT (テザー)へと変換を行い、以下の資産へ再配分するポートフォリオの組み換えを段階的に実施いたします。

- USDT を活用した NYANMARU Coin (\$NYAN) の市場買付 (最大取得金額 : 10 億円)
- ビットコイン (BTC)への戦略的配分 (長期保有およびヘッジ戦略を含む)

なお、今回の取り組みは、資産の集中投資リスクを回避しつつ、中長期的な資産成長および流動性確保を両立することを目的としております。

なお、USDT を活用した NYANMARU Coin (\$NYAN) の市場買付を最大取得金額として、10 億円としているのは、2025 年 10 月 21 日付「資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」にて公表しました、新株予約権（第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権）の発行により調達する資金使途「⑧当社及び子会社による暗号資産の購入資金」に 1,260 百万を追加購入資金枠として、資金使途及び支出予定時期を変更しました。

追加購入資金のなかで、「NYANMARU Coin (\$NYAN)」（想定 10 億円）を対象としており、金額に関しては、追加で購入するコイン銘柄における直近のパフォーマンス、出来高などからそれぞれの暗号資産における売買による 2026 年 8 月期のトレーディング収益見込みのなかで最低限に必要となる運用資金として追加設定しており、上記の最大取得金額についても同じく 10 億円を設定しています。

#### 2. 本組み換え実施の背景および理由

##### (1) 市場環境の変化

米国における金利動向や貴金属相場の高騰（特に金・銀）により貴金属相場の流動性が非常に高まっています。現在の高い流動性相場を最大限活用するため、恩恵を受ける暗号資産の売却を推進します。特に流動性の高い Nyanmaru GOLD Utility Token (\$AGF) と市場が安定して推移する WOWBIT (\$WWB) の換金を進め、得た USDT をもとに新たな通貨へ再投資を実施します。

## (2) NYANMARU Coin (\$NYAN) および BTC の下値リスクの縮小

現在、NYANMARU Coin (\$NYAN) および BTC は短期的に大きく下落しております。しかし、いずれの通貨も売り圧力によるダウンサイドの更なる局面というよりも現状では売り止まりによるアップサイドに振れる局面が大きくなる可能性は高く、ポートフォリオの組み換えタイミングとしては最適であると判断しております。

引き続き、リスクを限定しながら、ポートフォリオ組み換えのチャンスがあれば、随時進めていく方針です。

## 3. 今後の方針および運用方針

ポートフォリオ組み換え後においては、以下の方針で運用を行います。

投資先	運用方針
USDT → NYANMARU Coin (\$NYAN)	最大 10 億円規模の購入を段階的に実施
USDT → ビットコイン (BTC)	長期保有 + 下落局面でのデルタニュートラル戦略を実施

また、NYANMARU Coin (\$NYAN) については、今後の流通拡大に向け、流動性支援を実施する可能性も検討しております。

具体的には、2025 年 11 月 13 日付 PR 情報「[\(経過開示\) Hyperliquid チェーン上における DEX 型 Perpetual Market 開発の進捗に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、Hyper liquid ベースの永久先物市場（通称：バーペチュアルマーケット）の市場投入に伴って、流動性供給用のプール策定並びにそのプールへの資金投下を検討しております。

これにより、参加者によるマーケットへの需要と流動性を高めていき、取引自体の活発化に繋げていきます。

## 4. 今後の見通し

本件が 2026 年 8 月期の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上